第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策

指定管理者制度導入施設の第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策 （令和4年度）

1　概要

施設名	吹田歴史文化まちづくりセンター	所管部室課名	都市魅力部文化スポーツ推進室
実施日時	令和5年1月13日（金曜日） 13：00～	実施場所	吹田歴史文化まちづくりセンター会議室

2　助言等の内容及び対応策

No.	助言等の内容	対応策	評価項目
1	施設の景観を高めるための取組が来館者の質を高め、良いスパイラルが生まれている。市内の他の施設とコラボレーションする意欲は評価できるので、今後はまちなかリビング北千里や健都などとの連携にも期待する。	当施設はJR吹田以南の市民の方の利用度が高く、昨年来市域全体の市民の方が来館出来るイベントを企画しています。多少の増加はあるもののまだまだ努力が必要と言わざるを得ません。御指摘のように健都は企業とのタイアップイベントや各種講習会など多彩に活動されており、まちなかリビング北千里についても絵本の子供向けイベントなど連携の可能性を検討し、市域全体での更なる知名度向上に努めます。	1　管理運営内容 (1)事業運営 ア　施設の設置目的に合致した主催事業（委託事業)を適切に実施している。 イ　施設の効用を高める自主事業を適切に実施している。
2	新規利用者の拡大については、今の形では大きく利用者は増えないことが懸念されるため、さらに工夫を重ねて働きかけて，施設の趣旨に沿った人材、参加者が継続的に増加・維持することを期待する。	貸室の利用状況について利用件数は完全にコロナ前に戻りつつありますが、新規の利用者の増加は微増にとどまっています。今後SNSを最大限利用し貸館の使用状況あるいは利用者のアンケート結果等の公表により、古民家の素晴らしさを発信することで、新規の利用者の使用頻度を高めます。	2　利用者満足度 (2)利用者サービス ウ　利用者アンケート等、利用者ニーズの把握を行い、サービスの向上に向けて取り組んでいる。
3	ボランティアの高齢化や減少については、施設の維持管理のための機器の導入による作業負担の軽減や、施設の存在感を地域にアピールすることで、ボランティアの増加につながることを期待する。	当施設は開設当初からボランティア・役員・スタッフの三位一体で運営しており、ボランティアのウエイトは大変高く運営の要になっています。庭園管理・イベント運営・まち案内人・館内ガイドなど、多岐にわたるボランティア活動を支える人材の募集を分野別に実施いたします。	3　サービス提供の継続性及び安定性 (1)施設の管理運営に係る経営状況 ア　施設の管理運営に係る経営状況が健全であり、継続的かつ安定的なサービス提供が可能である。